

## さいたま家庭裁判所委員会議事概要（第10回）

### 1 日時

平成19年2月7日（水） 午後1時30分から午後3時20分

### 2 場所

さいたま家庭裁判所大会議室（新館5階）

### 3 出席者（委員長を含め委員14名，説明者等8名）

委員長	田中由子（さいたま家庭裁判所長）
委員	市瀬健人（さいたま家庭裁判所少年部総括裁判官）
同	伊藤政子（埼玉調停協会連合会長）
同	今井理基夫（さいたま家庭裁判所家事部総括裁判官）
同	海老原夕美（埼玉弁護士会弁護士）
同	蛭原正敏（さいたま保護観察所長）
同	大倉浩（埼玉弁護士会弁護士）
同	井上正一（テレビ埼玉報道制作局長）
同	久保徳次（さいたま商工会議所事務局次長）
同	関根和夫（埼玉県中央児童相談所長）
同	利光知子（さいたま地方検察庁検察官）
同	原沢優美子（埼玉県婦人相談センターDV相談担当部長）
同	坂西友秀（埼玉大学教育学部教授）
同	細田孟（埼玉新聞社編集局長）

[ 細田定昭（埼玉県警察本部生活安全部長）欠席 ]

説明者	樋口昇（さいたま家庭裁判所首席家庭裁判所調査官）
同	飯田安男（同 家事首席書記官）
同	細井三郎（同 少年首席書記官）
庶務	横溝千明（さいたま家庭裁判所事務局長）
同	井上幸雄（同 事務局次長）
同	岡下直樹（同 総務課長）
同	大和谷裕子（同 総務課課長補佐）
同	塚原成明（同 総務課庶務係長）

### 4 議事概要

開会宣言

委員長挨拶

新任委員自己紹介（井上委員からの挨拶）

テーマの協議

ア 「家庭裁判所委員会の在り方」について

第9回家裁委員会における意見をふまえて事務局で検討した結果の報告

イ 「より利用しやすい家庭裁判所とするために」について

各委員に、家事調停期日通知書など実際に使用されている様式を使用して仮に作成した呼出状等5種類のうちのひとつを封書で配布し、正面玄関外からその書面に指定された場所まで、実際に足を運んでもらった。そのうえで、一般市民の感覚で、初めてさいたま家庭裁判所に来た人が自分の行きたい部署まで行けるかどうかという観点から、庁舎内の表示等のわかりやすさ、職員の対応、呼出状の文言等について、感じたことなどの意見を聞いた。

庁舎内の表示等のわかりやすさについては、文書を出した組織の名前と、庁内配置図の場所の名前が一致していないとわかりにくい、とか、案内図の文字の大きさや色を工夫してはどうか、とか、外にあるのが「裁判所」という表示のみなので、「家庭裁判所」という表示もあった方がよいのではないか、などの意見が出された。

職員の対応等については、親切に教えてくれた、という意見がある一方、庁舎内で、職員とそうでない人の区別がつかないし、場所を尋ねるにも、誰に尋ねてよいのかわからなかったという意見もあった。

呼出状の文言等については、宛名に「 殿」とあるのは「 様」とした方がよいという意見や、事件の種類によっては「 殿」がよいという意見もあった。その他に、同封されていた説明書がよかったという意見などが述べられた。

その他、1階のホールが暗い感じがするとか、他の家庭裁判所で、玄関が明るくて、案内のところに専門の職員がいるところがあるが、そういうことがあればいいと思うなどの意見が述べられた。

事務局長による次回の日程調整

委員長による閉会宣言

5 次回日程等

日 時 平成19年5月31日(木) 午後1時30分から(2時間程度)

場 所 さいたま家庭裁判所大会議室(新館5階)